

天岩戸神社 注連縄御神事

令和七年 天岩戸神社注連縄張神事

12月22日(月) 冬至

午前6時40分

・ご奉納行事

献香献茶式 神鶏長鳴きの儀 奉納演武

9時

・注連縄張神事 宮司祝詞奏上

・鏑矢奉献の儀

・御神体の注連縄張替え神事

10時

・ご奉納行事

奉納演奏、奉納演舞、奉納揮毫(きこう)

12時30分

・国指定無形文化財 天岩戸神楽奉納

13時

・畳投げ大会

重さ約20キロの畳を投げ、その距離を競う
毎年恒例の大会です。
※どなたでもご参加いただけます。

注連縄発祥の地、天岩戸神社

新年を迎えるにあたり、ご神体「天岩戸」の注連縄を張り替えます。
冬至より太陽の力が増していく様を天岩戸神話に重ね、新たな
明るさと喜びを迎える神事です。

注連縄張神事

「天岩戸伝説」を伝える古事記・日本書紀になぞらえ、ご神体の「天岩戸」に、注連縄を張る神事。

登山家（望月椿・天野和明）が、毎年冬至の日に注連縄の張替えを行います。

天岩戸伝説では、天岩戸にお隠れになった天照大御神様を思兼神が外に引き出した際、二度と洞窟に戻らないようにと、布刀玉命様が、御神体の天岩戸に結界として注連縄を張ったことから、天岩戸神社は注連縄発祥の地とされています。



鎗矢奏上の儀

宮崎県立高千穂高等学校弓道部による鎗矢を合図に注連縄の張替が行われます。



ご奉納行事

無事に御神体「天岩戸」に注連縄が張られた事を祝い、舞や音楽など、日本を代表する芸術家・文化継承者たちにより、神話になぞらえた様々な奉納が行われます。



国指定無形文化財 天岩戸神楽

「天岩戸開き」を伝える舞。

起源として、天鈿女命の舞を現代まで伝えたもの、其の外の八百萬の神々の御行跡を舞に現したものであると伝えま。演目は天岩戸開きのシーンを伝える25番から27番を公開します。

【演目】鈿女25番・戸取26番・舞開27番



長崎鶏（東大紅）



数量限定 注連縄の御守り

神事前日に御神体より下ろされた、「しめ縄」の一部を、お守りにいたしました。落ちること切れることなく、御神体を守ったしめ縄は、大変縁起が良いものです。



畳投げ大会

（どなたでも参加いただけます）

重さ約20キロの畳を投げ、その距離を競います。天岩戸伝説の中で、天照大御神がお隠れになられた天岩戸をこじ開けた力の神様「手力男命」に由来。「手力男命」が投げ飛ばした岩戸は長野県の戸隠に飛ばされ戸隠山になったと伝えられています。



令和五年度チャンピオン

日向國 天岩戸神社

〒882-1162
宮崎県西臼杵郡高千穂町岩戸1073番地1

TEL 0982-1741823
FAX 0982-1741891
社務所 8時30分～17時

<https://amanoiwato-jinja.jp/>



空港からお越しの方

○阿蘇熊本空港
○宮崎空港

車約1時間30分
車約2時間15分

九州各地よりお車でお越しの方

○福岡・佐賀・長崎・鹿児島方面
○宮崎・大分方面

九州道嘉島JCTを経て九州中央道に入り山都通潤橋ICより約1時間
東九州道から延岡JCTを経て九州中央道に入り、終点蔵田から国道218号線を進み、
平鹿ICで九州中央道に入り、日之影深角ICより7分。

交通機関ご利用の方

○熊本駅・熊本空港
○延岡駅

宮崎交通 特急バス「高千穂号」↓高千穂バスセンター↓路線バス↓天岩戸神社
宮崎交通 路線バス↓高千穂バスセンター↓路線バス↓天岩戸神社